

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 9 / 2014 # 14

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『Johan de Meij氏来日』

[2] Pepeのひとりごと

『自分のできること』

[3] おすすめ動画

『Symphony No.1 'The Lord of the Rings' - Johan de Meij』

『Summer by Johan de Meij, Helsinki Music Centre 11.11.2013』

[4] 演奏のヒント！

『バランスをとる』

[5] これを吹きたい！ ＊新トピック＊

『2014年度吹奏楽コンクール

課題曲4 青葉の街で』

【トロンボーン、ユーフォニアム編】

[6] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『Johan de Meij氏来日』

4月27日から5月5日まで、作曲家、指揮者として世界中で大活躍のJohan de Meij氏に同行していました。

彼とは2012年の6月、オーストリアのリンツで開催されたITEC

(International Tuba Euphonium Conference)で初めて会ったのですが、その時からすぐに打ち解けて、会場で会う度に少し立ち話をしたり一緒にコンサートを聴いたりしていました。

今回は福岡でのコンサートのための来日だったのですが、いろいろとあって岡山県倉敷市でもコンサートができることとなりました。今回のスケジュールは、倉敷ー広島ー松山と3つの街を移動&観光しました（詳しくは僕のブログやFacebook pageのアルバムを見てくださいね）。

今回ゆっくりといろいろな話をするのができ、すごく楽しく、かつ勉強になる話もたくさんできました。

作曲家として、指揮者として、また音楽家、芸術家としてなど、いろいろな視点から彼を見ることができ、また、自分自身のことを見直すこともできました。

ここでメルマガ読者たちへ少し情報を。 :)

彼は今、テナー（バスではないという意味で）トロンボーン2本のためのダブルコンチェルトを書こうとしています。

そして、その初演のソリストとなるのは、なんとNew York Philharmonicの首席、Joe Alessi氏と、オランダのアムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団（今現在はNYPで吹いています。たしか6月まで？）の首席のJörgen van Rijen氏というのだから、今から興奮してしまいますよね！！

まだ書き始めてもいないとのことなのですが（笑）、今からどのようなメロディーが出てくるのかが楽しみです！！

Johanは、来年の5月にもフィルハーモニック・ウィンズ・オオサカンを指揮するために来日を予定しているようです。

スケジュール調整がうまくいけば、なんとJoe Alessiさんをゲストに呼んでJohanの曲「T-Bone Concerto」を演奏するそうです。

コンサートは5月4日。

まだ確定はしていないそうなのですが、興味のある人はこの情報から目を離さないように！！ :D

## [2] Pepeのひとりごと

### 『自分のできること』

今回のJohanと一緒にいる期間に、岡山、広島、愛媛それぞれでたくさんの友人たちと会う機会を持つことができました。

もちろんJohanの協力なくしてはできなかったことなのですが、僕を通じて僕の友人たちがJohanと知り合うことができ、仲良くいろいろな

話をして楽しくしているのを見て、僕もとても嬉しかったです。

これらの体験から、これからは僕自身の今までの経験（ネットワーク含めての）をうまく活かして、僕の周りにはいる大切な友人たちの世界を少しでも広げていくことができればいいなあ、と思うようになりました。

僕は今までいろいろな国へ行き、いろいろなところで自分の友人の輪を広げていきました（もちろん、今もやっていますよ！）。

今のようにSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス。Facebookのようなシステムのことで）がとてもたくさんの人に利用されるようになってからは、そのネットワークが特にうまく機能するようになってきて、僕は常に世界中の友人たちからいい刺激をもらいながら過ごすことができます。

\*SNSは危険だという考えもありますが、使い方を知り、また自分なりの使い方をきちんと確立していれば（決めていけば）、何も怖いことはないと思います。もちろん、それをするための勉強は多少は必要です。それを面倒だと思う人は使わなければいいし、SNSを使って自分の今持っている世界を2倍にも3倍にも広げようと思っている人は、それなりの知識を増やすための勉強はやる必要があるでしょう。

今回のこのみんなで会う機会を持つことによって、改めて自分の持っているネットワークをつなげることによって、僕の周りにはいるたくさん大切な人たちを幸せにできるのだなあ、と実感しました。

これからは、そういう人たちのためにも自分をうまく使っていきたいと思います。

・・・こういうことをやっている、場合によっては自分のネットワークを自慢しているように思われることがあるかもしれません。でも、そういう少数のネガティブな意見に負けず、その他多くのポジティブな反応のために自分の今までの経験を有効に使っていきましょうと思っています！

何か僕で手伝えるようなことがあれば、どなたでも結構ですので、気軽に問い合わせてくださいね！

### [3] おすすめ動画

『Symphony No.1 'The Lord of the Rings' - Johan de Meij』  
[https://www.youtube.com/watch?v=F\\_gTx1qR9mM](https://www.youtube.com/watch?v=F_gTx1qR9mM)

今回は、Johanの曲を2つ紹介します。

まず一つ目は、彼の名を一躍世界中に広めた彼の大作第1弾、交響曲第1番「指輪物語」です。

なんと彼、これまで作曲を習ったことはないんですって！！すべて独学で書いてきたそうなんです。

驚きですねえ・・・。

こういう人が増えてもいいなあ、と個人的には思っています（笑）。

『Summer by Johan de Meij, Helsinki Music Centre 11.11.2013』  
<https://www.youtube.com/watch?v=ZnjZgX6tosY>

2つ目の動画は、最近書かれたばかりのJohanの曲「Summer」です。この曲は、彼の今取り組んでいるプロジェクトの一つで、全部で4曲の組曲という形になっていくようです。それぞれ春夏秋冬と季節をタイトルにする予定らしく、今のところ春と夏ができています。

これら4曲は、それぞれスカンジナビアの4国のフォークソングをテーマにしていて、春はスウェーデン、夏はフィンランド、秋はデンマーク、そして冬はノルウェーとなるそうです。いい曲なので、ぜひ聴いてみてくださいね！！

この曲は、先日倉敷で金光学園音楽部吹奏楽団によって日本初演されました。

ほかにも、交響曲第3番をはじめ素敵な曲がたくさんあるので、時間のあるときにいろいろと聴いてみてくださいね～！！：)

#### [4] 演奏のヒント！

##### 『バランスをとる』

今回のJohanと過ごした1週間の中で、よく聞いた言葉の一つに「バランスをとる」という言葉があります。

バンドとのリハーサルの中でもそうだし、僕が彼のコンチェルトに関してのテンポについて聞いた時にも、この「バランスを取る」ということがキーワードになりました。

僕自身、自分の奏法や練習法に関しても、またレッスンをする際にも、この「バランスを取る」ということを常に意識していたので、とても共感することができました。

例えていくつか書くとすると、例えば自分の練習について。  
まず大きく基礎練習、曲の練習、エチュードを使っの練習と  
いうことに始まり、そのそれぞれの中でも（例えば基礎練習だと）  
ロングトーンや音階、リップスラーなどがありますよね。

これらをどのようなバランスでやっていくのかがとても重要だ  
ということです。

この「バランスのとれた状態」というのは、もちろん毎日違うもの  
だと思います。同じ日なんてありませんからね。

毎日それらを注意深く意識して練習していかないと、ただ時間を  
費やすだけで成果が現れず、自分の満足感の有無だけの練習に  
なってしまいます。こういう練習は、とても残念な状態です  
よね・・・（泣）。

もう一つの例は、バンドでの練習の場面で。  
基礎合奏もちろんとても大切なのですが、曲を通じて手に入れる  
テクニックもたくさんあります。  
音量の練習もバンド全体でやる必要もありますし、テンポを維持する  
ことも、全体でするといろいろと違ったことが起こるものです。

曲の中での音量設定やテンポ設定も、Johanの言葉を借りて言うと、  
「いい音がしていい音楽ができるころ」がそのバンド、その演奏  
のバランスの取れている状態だということです。  
これには僕も賛成です。

みなさんも、ぜひもう一度自分の練習や、自分の所属するグループ  
の練習を見直してみてくださいね。  
もしかしたら、今までモヤモヤとしていたことがスーッと消えていく  
かも?? ;)

[5] これを吹きたい！ ＊新トピック＊  
『2014年度吹奏楽コンクール  
課題曲4 青葉の街で』  
【トロンボーン、ユーフォニアム編】

今号は、読者の方からのリクエストに応じて、今年度吹奏楽  
コンクールの課題曲4を取り上げます。

【】で楽譜上の場所を示して、Tromboneに関することを[T]、  
Euphoniumに関することを[E]、両方に関することを[B](both)と  
表していきますね。

### 【オープニング】

[B] 3拍目のシンクペーションの入り方が気になるでしょうが、そこはそう難しくありません。それよりも、そこを気にすることによって2分音符の音が貧弱に、もしくは短くならないように注意しましょう。2分音符を8分音符単位でカウントすると、音が伸びやすいですよ。

あと、同じ音量で4小節目途中まで吹くことが、意外と簡単ではありません。

各小節1拍目の音の音量をよく聴き、それらを整える（合わせる）作業をまずやってみましょう。

### 【6~9小節目】

[T] Cla.のメロディーをつなげる感じで吹いてみましょう。特に3、5小節目の頭の音はCla.のメロディーの始まりのように感じて吹きましょうね。

頭の中でメロディーを歌いながら吹くと、音量のバランスの取り方も自然とわかってきますよ。

### 【B】

[T] 後打ちは、リズムのことだけを考えないように注意！長い音にして和音を作り、聴きながら吹く練習もやってみよう。8分音符になっても、和音の感覚を持ったまま吹けるように！

これもメロディーを頭の中で歌いながら楽譜通りに吹くことができるといいですね。

[E] 吹き始める音が次の小節1拍目の2分音符よりも低いことを考えて、低めの音はしっかりめに響かせて吹くようにしましょう。

・・・そうとわかっているけど、こういうところはなかなかうまくはいきませんよね？（笑）

この場合は、8分音符の3拍目の裏と4拍目の頭の音を流さないようにきちんと吹くと、音量も出やすいですよ。

### 【17~20小節目】

[E] 1拍目の音が止まりやすいので、1拍目の音だけを各小節取り出して、その音だけで【C】までつなげる練習をしてみましょう。楽譜通りに吹くときには、この練習の時の感覚で各1拍目の音を前に向いて吹く（次の小節の音に向かって吹く）と、1拍の長さでちゃんと音が伸びてくれるようになりやすいです。試してみてください。

### 【20小節目】

[T] 3拍目の8分音符は、Cla.やFl.などを聴いて長すぎず、かつ短すぎず、木管楽器たちのニュアンスに合わせてみると、いい意味での「感覚」でうまく合ってくると思います。

### 【C】

[B] 2拍目にある「1拍半」分の長さを意識して、音が止まらないように注意しましょう。

このメロディーは4拍目から1拍目への「流れ（動き）」を意識すると前に向いて進みやすくなると思います。1小節目だけでなく、常にその動きを意識しながら4小節目吹き進みましょう。

あと、ここは（特に1拍目の）16分音符が聞こえにくくなると思います。聞こえないからといってその16分音符だけを大きく吹くようにしてもバランスが上手く取れなくておかしなメロディーになってしまうので、ちゃんと1拍目の付点8分音符の音もちゃんと鳴らす（響かす）ように気をつけてください。

16分音符を聞こえるようにするためには、1拍目のリズムのところを最初のEの音2つでやる、2つ目の下のAの音2つでやる、というように音を変えてちゃんと吹けるように練習してみてください。そうすると、音程（音と音との距離）がちゃんと取れるようになって、音を当てることができるようになってきますよ。

### 【25小節目】

[E] Cla.Sax.のメロディーを頭で歌いながら吹くと、音程や音量のバランスがとれてきますよ。

### 【D】

[E] リハーサル番号【B】の時と同じように、最初の音と上がってきてからの音が同じ音量になるようバランスに気をつけて演奏してみましょう。

35小節目、37小節目の4分音符は、メロディーの流れに乗って音圧や長さを調整していくと、うまくいくと思います。

### 【39小節目】

[B] ffと書かれている8分音符からちゃんとffで吹けているかを確認してみましょう。4分音符からffになったのでは遅いですよ。なかなかうまくいかない人は、そのタイミングでffが吹けるようにどのタイミングでブレスを取ればいいのか、どのようなブレスを取れば大きな音で吹くことができるのかをよく考えてみよう。

### 【40小節目】

[T] アクセントは「はっきりと」聴こえるように吹こう。音を止めないように気をつけて！音は常に前へ！！

[E] 3拍目の裏と4拍目の表のFの音は、あとの音のほうが音程が下がりやすいので、「同じ音程で」吹けるようにゆっくりのテンポから「よく聴きながら」練習していきましょう。Fの次のEとE♭の音（音程）の違いもしっかり聴きながら練習していきましょう。

## 【E】

[T] 3、4拍目の8分音符2つは、和音の響きを保ったままの音で吹くようにしましょう（短すぎたりすると音が響きません）。8分音符は短すぎず、長すぎず。演奏するテンポの8分音符の音価で和音の響きを出すように心がけましょう。

## 【F】

[E] メロディーを頭の中で歌いながら自分のパートを吹けるようになるまで、しっかり練習をしましょう。

オクターヴの音程に気をつけて、和音にはまったイメージを持ちながら吹くと同時に、音量が高い音に行くにつれ自然とクレッシェンドにならないように気をつけましょう。

音量はピラミッドのような形になるように（低い音ほど少し大きめに）気をつけましょう。

## 【54小節目】

[E] 3拍目のCの音程は、音列の勢いで上がり過ぎないように注意しましょう。

55小節目のFの音程が合わない場合、このCの音程からズレてる可能性は高いですよ～。

## 【G】

[T] オープニングと同じことに気をつけて。

[E] オープニングと40小節目の組み合わせです。それぞれのことをきちんとできるようになるまで、慌てずゆっくりから練習をしていきましょう。

## 【I】

[T] 8分音符の音を止めないように。音価を意識しながらはねるように吹いてみましょう。

## 【76小節目】

[E] すべての音（音価）で同じ音量になるようにしっかり練習しましょう。8分音符が小さくなりやすいですよ。

## 【76～81小節目】

[E] 各小節の1拍目の音の音程を意識しながらつなげて、音程の確認をしてみましょう。音程のはまらないところだけを取り出してチューナーでチェックしても、すぐに元に戻ってしまうことが多いので、あまり意味はないですよ～！

（音程が合っていない音だけを取り出して合わせるようなことをしていると、吹き方が悪くなってしまう可能性があります。気をつけましょう）



## 【J】

[B] オープニングと同じことに気をつけて。

### 【85～87小節目】

[B] 16分音符の音を下に向けて吹かないように注意しましょう。

音は常に前へ向けて出すように、そして響きとともに！！

最後の最後の音は、その直前のブレスのタイミングやスピード、吸う空気の量などを揃えるようにしましょう。それが合っていないと、練習では合っていても本番だけでズレたりすることが起こってしまいますよ～。

ブレスが揃うと必ず音も揃います（音の長さも含めて）。

事前に思っていたとおり、長くなってしまいました・・・。

これらのポイントに注意しながら練習をしてみて、またわからないことが出てくれば、また気軽に連絡くださいね（だれでもOKですよ～）。

---

## 編集後記

今回のJohanの日本ツアー中、彼から聞いたことの中で驚いたことを少し紹介しますね。

まず1つ目。

倉敷市で彼を乗せて移動をしている時、彼がCD屋さんの

「タワーレコード」の看板を見て「おお、タワーレコードがある！！」驚いていました。

大きな街にはタワーレコードはあると思うのでどうしてそんなに驚いているのだろう？と思って聞いてみると、もうアメリカにはタワーレコードは1件もないそうなんです。

アメリカは音楽や映像（DVD）のダウンロード購入がかなり進んでいるとは聞いていましたが、アメリカに一軒もないとは、驚きました・・・。

彼にとってはきっと懐かしかったでしょうね（笑）。

2つ目は、缶コーヒー。

ホットの缶コーヒーを見てとても驚いていました！

熱いんだよ、と言っても信じられなかったらしく、触って初めて認識していましたよ（笑）。

彼も飲んでみたのですが、とても不思議な感覚で飲んでました。

こうやって誰かの人生初を一緒に体験できるのは楽しかったです！：)

今回、読者からのリクエストに答える形で「これを吹きたい！」  
をやりました。  
このように、対応できる範囲で対応していきますので、みなさま、  
気兼ねなくリクエストを送ってくださいね。  
よろしく申し上げます！

-----

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)